

名大の授業
Nagoya University Open Course Ware

豊田講堂
am.8:00 2006.9.27

名古屋大学における OCWの活用

名古屋大学エコトピア科学研究所 山里敬也

目次

- * 「名大の授業」の概要
- * 「名大の授業」の特徴
- * 1分間授業紹介
- * 授業の工夫
- * 今後の展開

「名大の授業」の概要

- 2005年12月に公開開始
- 公開講義数

	日本語	英語
授業	73	32
その他	45	0
計	118	32

● デザインコンセプト：胡蝶の夢

月	アクセス数
Sep 2008	~10000
Oct 2008	~15000
Nov 2008	~10000
Dec 2008	~10000
Jan 2009	~10000
Feb 2009	~10000
Mar 2009	~15000
Apr 2009	~15000
May 2009	~15000
Jun 2009	~15000
Jul 2009	~15000
Aug 2009	~15000

- TOP
- 「授業ホーム」 授業のトップページです。担当の先生の写真と名前、講義の目的などより変化します。
- 「1分間授業紹介 & Podcast」
- 「Feedback」
- 「授業の工夫」
- 「講義の質づけ」
- 「参考資料」
- 「学習成果」
- 「授業の工夫」

「名大の授業」の特徴

- * 「名大の授業」というニックネームを採用
- * 部局長推薦と委員会推薦
- * 1分間授業紹介
- * 授業の工夫



一分間授業紹介



- * 授業を担当する教員が自らの言葉で語る授業紹介

部局長による教育紹介

- 2. 名古屋大学工学部の生徒をどのように思いますか？またどんな風に育ってほしいですか？
- 昔と比べても、名古屋大学の学生さんは学力的には全く問題ないと思います。しかし、できるだけいろいろなことに目を向けてほしいですね。大学に入ると、「どうしても『専門家』という視点から狭い分野にだけ注目してしまって学生がいますが、広い視点で物事を見てほしいですね。また、いろんなことに挑戦してほしいです。
- 5. 高校生と現役大学生へのメッセージをお願いします。
- ぜひ、勉強だけに限らずいろいろなことを挑戦してほしいです。これは若い頃しかできないことですからね。大学というところは、いろんな選択肢から自分に一番合っているものを見つけて出どころです。いろんなことをやって自分の一番合っているを見つけてほしいですね。



授業の工夫

- * 授業改善のためのアイデアの宝庫
- * 魅力ある授業を行うための様々な工夫



ボードゲームを究める

* 授業の設計においては、純粋な娯楽であるボードゲームを使って、いかに多角的にリテラシーの授業として成功させるかがポイントであると思います。受講者がほとんど知識をもたないような外国製ゲームを使うことはよかつたと思っています。なぜなら、ルールを自分で理解し、他人にプレゼンしてからさせ、プレイを通じて戦略を考え、議論する、また、同時に外国の文化的背景も考える、・・・、というように、様々な要素が含まれていますので。

朝鮮・韓国語 I

* 「楽しい」と「楽だ」は同じ漢字を使っても意味が大きく異なるのですが、これを同一線上で考える傾向があるようです。「楽しさ」は苦労した末に得られるもので最初から求めてもだめだ、という考え方は過去のものになってしまったと考えざるを得なくなってきたいるようです。伝統的な考え方を捨てつつも仍然是あるが、今すぐ得られる「楽しさ」の工夫も必要なようです。それをどうするかは個々の担当教員に任せていますが、1つの共通の方針として韓国の歌国歌、童謡、民謡、歌謡曲、クリスマスソングなどの樂器を授業中に取り入れています。学生にとっても教員にとっても温度差はありますが、90分の授業の緊張を緩和する効果があります。また、適切なコメントを付けて練習すれば、发声練習、発音練習としての効果も期待できます。また、若い担当教員は言葉ゲームを授業に取り入れています。ゲーム感覚が学生には好評のことです。

ドイツ語4

- 私の教授法の3原則は学習者の側から見れば
- ・予習をしない
- ・辞書を引かない
- ・日本語に翻訳しない
- になります。
- 「ことば」というものは「苦痛の種」としてではなく、「楽しみの源」として学ぶべきでしょう。だから、苦痛を与える授業、権威的な授業、間違いを咎めるような授業は最低です。

英語（コミュニケーション）I

* 学ぶ楽しさ

- 劇が単調にならないよう、音響や照明などをできるだけ使うように促しています。教科書を使わないでの、その分のお金を出し合って、大道具、小道具や衣装を購入してもらっています。金額は自由ですが、会計係を決めて、劇団ごとにお金の管理をしてもらっています。これらの要素は英語には直接関係はないのですが、劇の完成度が高いほど、それに比例して学ぶ意欲や英語が増しているようですので、積極的に取り入れてもらっています。

まとめと今後の展開

- 「授業の工夫」は授業改善のためのアイデアの宝庫
- 是非、他大学でも「授業の工夫」を公開して欲しい
- 英語ページを充実させる
- 映像コンテンツの効果的な利用法について検討